

資料 5

第2回市民委員会 『討議課題集』についての事前質問と回答

頁	テーマ	質問	回答
P14	地域力	笠原地域力向上プラン、小泉地域の地域力向上に向けた組織とは、説明にあるように、主に防災に主眼をおいたものでしょうか。モデル的に策定・実施されているものであるなら、今後他の地域にも広げて行く構想はありますか。 また、根本、南姫、養正校区等にも各世代を巻き込んだ「地域力」が根付いたまちづくりの取り組みがありますが、このような既存の組織を基盤とした、防災・福祉・親育ち・子育て等総合的な地域力醸成の試みはありますか。	地域が主体的に課題を集約し、その課題に対して地域で解決していく体制を構築するため、市としても体制の立ち上げに対して支援を行っています。市内で最初に地域力向上委員会を立ち上げたのが根本であり、モデル地域となっています。根本では、①防災グループ②地域交流グループ③高齢者グループ④子ども・子育てグループ⑤防犯グループ⑥自然環境グループで構成されています。小泉地域の地域力向上についても、地域の課題を把握し、それに対して取り組んでいくものになります。すでに地域で活動していただいている既存の組織を含めて、地域力向上を拡大していきたいと考えています。
P17	公園	緑化推進のなかの自然公園来園者数とは、どの公園が対象でどのように来園者を計上したものでしょうか。	かさはら潮見の森に来場された方の数（実数）を計上しています。
P21	地域力	その内容通りが現状であると思います。しかし、自治会の役員は、現状を維持するために具体的に継承しています。それぞれの地域には、それを実現するリーダーが存在していると思われる。それは、次の世代に教育等によって継承されて行くと考えられます。現実には、町内会長や区長をお願いしても断れることが多く、苦労ばかりです。	自治組織において、区長や役員の業務が多く、高齢化により地域において負担になっていることは認識しています。自治の問題もある中で市がどのように支援していくか難しいところではありますが、何らかのアプローチは必要であると考えます。
P27	結婚相談	我が家の周りでは、結婚適齢期を過ぎても独身者が多い。「結婚相談」をされているようだが、利用率は？他市でも行われている「集団お見合い」などの婚活活動はされてい	利用率は何を分母とするか不明確であり、算出が困難なことから、利用件数で回答します。 30年度結婚相談所の利用状況としては、

		る？PRは？	・来所者数 男性 330 名、女性 179 名 合計 509 名 ・相談件数 458 件、成立組数 7 組 ・モーニング婚活 7・8 月 2 回開催 18 人参加 ・婚活パーティー 25 人参加 2 組カップル成立 PR としては、パンフレット作成、イベントの広報、結婚相談所のチラシを作成し、東濃信用金庫及び陶都信用農業協同組合に配布等協力依頼を行いました。 また、広報紙掲載、フェイスブック掲載、結婚相談所のチラシによる広報を実施しました。
P37 P93	健康増進	私は、3 年前から「食生活改善推進委員」の一員になり、年数回、市民の軽い運動大会の後に、「トン汁」100 人分を作ったりなどしています。（ボランティア活動です。）多治見市でも 10 の支部があり、「塩分控えめ、野菜ファースト」など健康推進の広報に努めています。このような活動があるコトを少しでも知って欲しいと思い書きました。会員は月単位で「野菜ファーストなどを」他人に説明した人数を記録している。	健康づくりを老若男女に広く PR していくために、地域イベントでたじみ健康ハッピープランに基づいた体験型の活動を推進していただいています。また個人の対話活動で地域に根差した活動を継続して行ってきました。この活動を継続していきながら、各支部での活動、推進員の周囲への発信にも期待をしています。保健地区活動の中でも協働して広めて行くとともに、他でのアプローチ方法を模索していくことも必要だと考えます。 戴いたご意見は、後期計画策定の議論の中で担当課とも共有しながら参考にさせていただきます。
P37	たじみ健康ハッピープランの推進	初回から参加しているが、昨年から、レポート提出は FAX か郵送に限られた。聞くところ、ウイルス対策の為で、メール提出は昨年から今年もダメの様です。保険センターの開催ですが、この時代に対策がされていないのですか？歩数が毎日グラフ化でき、楽しく続けられます。	戴いたご意見は、後期計画策定の議論の中で担当課とも共有しながら参考にさせていただきます。
P43	高齢者虐待	「児童虐待」の対応が問題となっているが、多治見市は「高齢者虐待」についての対応はどうなっているのか？	多治見市虐待防止マニュアルを作成し対応しています。また、高齢者虐待防止ネットワーク会議（市・地域包括支援セ

			ンター・介護事業所・警察等）を設置し、定期的に情報共有・連携強化し対応しています。虐待に繋がりそうな困難ケースについては地域ケア会議を開催し情報共有しています。また、予防、早期発見につながる事業を実施しています。 ・地域包括支援センターや介護事業所では早期発見に努める ・介護に関する相談を身近な場所で開催 ・介護者の集い（介護家族交流会）により介護者を支援 ・地域の見守り支援（孤立死ゼロ・虐待死ゼロのまち協力隊）により見守り通報（ガス・電力・新聞販売・運送会社等）
P47	地場産業	地場産業の市場規模や従業者数、さらに地場産業からの税収などの推移が分かれば次回でも結構なので教えて欲しい。	・多治見市の産業別生産額の 2013 年データでは、第 2 次産業 23.3%。そのうち、「窯業・土石」は 23.2%。つまり、多治見市全体の生産額の 5.4%。金額にして、260 億円／4,800 億円（出典：RE S A S） ・「窯業・土石」の従業員数は 3,007 人（出典：『市政概要 H29』） また、出荷額の推移では、 ・和飲食器（美濃焼全体）H6：51,970,000 千円→H28：14,092,000 千円（ピーク比 27.1%） ・洋飲食器（美濃焼全体）S60：61,901,000 千円→H28：9,921,000 千円（ピーク比：16.0%）（出典：経済産業省「工業統計調査」）
P47	地場産業	多治見市の住民の内、世帯者が多治見市の企業に従事しているのか、市外に従事しているのかの割合は分かるのか？ 理由：地元には産業があるか？名古屋等へのベッドタウン化などが分かるから。	市外従事者 29,482 人。逆に市外から市内へ従事するのは 14,854。（出典：『多治見市まち・ひと・しごと創生総合戦略』）
p47	地場産業	見本市とはどこで開かれるもので、多治見からどのくらいの出展がありますか。	平成 30 年補助実績の主な見本市は、 ・建築建材展（東京、3 月 5～8 日）

			・テーブルウェアフェスティバル（東京、2月4～12日） いずれの見本市も、美濃焼振興協会及び美濃焼タイル振興協議会など業界団体による出展に対して補助したものであるため、出展企業数では規模が測れませんが、例えば平成30年度のテーブルウェアフェスティバルでは、会期中に288,171の来場者があり、12,481点の陶磁器商品を販売し14,019,010円の売上があったと報告を受けています。
P56	観光振興	ご当地検定試験。多治見市の観光、自然、歴史、文化、産業などについての知識や教養などについて認定するコトにより、多治見市の良さを再発見してもらう。市民の郷土愛の育成や他県からの美濃焼ファンの開拓も図れると思われる。但し、3年位は続くかも知れないが、その後は飽きられるかも知れない。初級・上級の2クラスに分け、小学生から高齢者まで範囲を広げる。	戴いたご意見は、後期計画策定の議論の中で担当課とも共有しながら参考にさせていただきます。
P56	リニア新幹線	東京との近距離により、企業誘致や観光戦略や大学誘致などが考えられるが多治見市は展望などが出来ているのか？東濃地方の各市はどのような展望を持っているのか？10年後の多治見は相当な変化された「まち」に成っていると思われる。	企業誘致や大学誘致などは過去、この地域が一体となってPRしたことがありましたが、リニア開業に合わせてそういった動きは今のところありませんが、観光PRにおいては、「東濃」や「東美濃」の名の下、近隣自治体で連携して取組むことで一致しています。ただ、連携の枠組み（範囲）やテーマについては議論が始まったところです。 当市民委員会も、10年後の多治見について議論する場の一つですので今後の議論の中で具体的な事業案とともにご意見をいただきますようお願いいたします。
P56	リニア新幹線	「第7次総合計画」P73にリニア新幹線について述べているが、20年後を見通した構想が「討議課題集」で述べられていないと思われる。どこに載っているのか見つからな	P56「観光振興」の後期に向けた課題として挙げているが、分野横断的な課題意識は挙がっていません。計画策定の中で他の事業分野も含めて議論をしていきたいと思います。

		い何故か？リニア新幹線開通によって、多治見を取り巻く環境が大きく変化すると思われますが、余り話題になっていないように思われる。	
P56	観光振興	「半分、青い。」より以前に「愛おしくて」（2016 年 1 月～3 月 NHK 放送）が多治見市を舞台にして放送された。私は多治見以外の場所での自分の紹介の中で「愛おしくと多治見」を使った挨拶をその当時したモノでした。「半分、青い。」と共に「愛おしく」もロケ地誘致効果の定着化に具体的に番組名を出したらどうか？その当時のロケ地近くの賑わいが復活するのではないか。ラーメン屋さんは行列が出来ていた。	ご指摘の通り、「愛おしくて」の撮影時も多治見市はロケ地誘致&支援に力を入れました。ロケ地自体を観光資源として活かすための取組みなどについて、後期計画策定の議論の中で担当課とも共有しながら検討させていただきます。
P60	生涯学習	生涯学習があるが、それが具体的に実施されている講座名が分かるパンフや広報されているモノがあれば知りたい。「たじみすと」「BunBun ねっと」「ふれあい」以外にあれば教えて欲しい。もっと多くの講座があると思っていますので、広報してもいいと思います。	ここで言うところの生涯学習は、学習館や地域の公民館・集会所等で行われている市民活動を指していて、その多くは挙げていただいた情報媒体に掲載されています。加えて、例えば、「たじみオープンキャンパス」や「プライベートカレッジ」の最新の情報は多治見市文化振興事業団の公式サイト上に掲載されています。
P64	AED	AED の地区別の設置場所（民間店舗含む）や AED の研修場所とか予約方法などを広報で知らせて欲しい。町内会の役員さんに、毎年受講してもらおうよう浸透したい。市や区からも各町内会へ広報活動をお願いしたい。	AED の設置場所の周知方法については課題でもあがっています。戴いたご意見は、後期計画策定の議論の中で担当課とも共有しながら参考にさせていただきます。
P71	エネルギー	エネルギーに関する施策	住宅用新エネルギー設置補助（太陽光パネル、燃料電池、蓄電池、V t o H）や市内小学校など公共施設への太陽光発電設備の率先導入を実施しています。
P71	墓マンション	前回のこの会議で、市長が最初に発言された「墓マンション」とは、「たじみすと 4 月号」P11 の「北市場霊園内	そのとおりです。

		に集合墓を建設するため～」のコトですか？マンションと 言えば、「交通の便が良く、天候に左右されず、階段を登っ たりしなくても良い」イメージがあったからです。	
P71	熱中症の対応	多治見市は以前、「日本一暑い町」を PR していたが、他 の市と比べて熱中症対策をしているコトで安全・安心・快 適に生活できる「まち」を広報しているのか？ 多治見市は熱中症が他の市より少ないコトがデータとし て把握されているのか？	今は「日本一暑いまち」ではなく、暑さ対策に重点をおき、 「暑さ対策日本一」を PR しています。 熱中症について、他市との比較はありません。
P82	交通安全対策	高齢者運転手の事故率の多さ等、どの町も安全できない 町だと思っています。高齢者に「免許返礼金」などを市が 出して高齢者の運転免許証の早期返納を促したらどうでし ょうか？	平日昼間 200 円バス・あいのりタクシー・ききょうバスに より公共交通機関を充実させ、市民の皆様の足を確保するこ とで免許返納しやすい環境を整備することに注力していま す。 お話をいただきました免許返納のきっかけづくりについ ては、基本計画事業を検討する中で、参考とさせていただきます。
P85	安全・安心	ブロック塀の倒壊で小学生が死亡した事件があったが、 多治見市でも危険な古くて壊れやすいブロック塀が多くあ ると思います。神社の石段とか民家の塀にもありますが(あ くまでも、素人目として)、市としては、何か事故が起きる 前に所有者へ通達などを出す方針なり対策はありますか？ 所有者が危険と気づいていない場合が多いため、市民が危 険だと思っている場所をお知らせするような（通報）窓口 があるのか？「たじみすと 4 月号」P14「ブロック塀除去 補助制度」に含まれるのかと思われる。	今年度中にすべての通学路の調査を市で実施し、危険箇所 については、所有者に対して補助制度の通知を行い、危険な ブロック塀が除却していただけるよう対応しております。 市民の方から危険なブロック塀がある旨のご連絡をいただい た場合は、その所有者に対して臨宅により補助制度の説明を させていただきます。

p94	地域力	何か具体策は出されているのか？	地域力とは、地域の課題を地域自らが解決に取り組んでいく力のことです。本市では、地域防災、地域交流、障がい者・高齢者サポートなど様々な活動をしていただくため、地域において地域力向上委員会を立ち上げるための支援を行っています。 平成 30 年度には、地域力向上推進プロジェクトチームを設置して、組織横断的に地域力向上に資する業務を行っており、今後より実効性のある支援を行っていきたいと考えます。
P97	ふるさと納税	HP で見ましたが、多治見市の返納品の数が瑞浪市や可児市や恵那市などに比べて少ないが、何か余り前向きではないように思われる。多治見市には返納品としての「地場産」は他に無いのか？	当市の返礼品が他市と比べて少ない理由として、主に総務省通知（返礼品は地場産品に限る。）を順守していることが考えられる。今後も引き続き、事業者への営業活動を行っていき、寄付者への魅力を高めていきたい。
P94	市民活動支援（プライバシー保護の壁）	以前は町籍簿があったが、今は無いので、地震などの災害があった時の町内の家族の存在が掴めない。昨年から多治見市の災害時用の家族調査があったが、それに記載しない世帯があり。困ったものです。 町内会に加入していない世帯の対応はどうするのか？	自治組織の自主・自立性の観点から加入を強制することはできない。町内会の加入については、市民課で転入手続きの際に自治組織加入の案内文書を配付し、加入率の向上に努めている。委員ご指摘の問題は、当市だけではなく、全国的な問題であると認識している。
P94 P155	高齢化に対応する地域組織の在り方の見直し	高齢化に対応する地域組織の在り方の見直しとは、何かを知りたい。多分メリットとデメリット（地域エゴ）がでると思われる。区や町内会を合併して少なくすることなのか？一方、毎年、脱退する町内会があるが、市として地域組織の在り方などの方針はありますか？	「高齢化に対応するため、地域組織のあり方を見直す」は職員からの提案として出てきたものであり、実際に施策として見直しを行うことではない。自治組織は任意団体であり、脱退については地域自治の問題と認識している。各区、町内会でも自治会の加入の呼びかけを行っており、加入率の向上に努めていただいている。
P101	本庁舎と北庁舎との連携のスムーズ化	北庁舎へ町内会のコトで申請（防犯灯新設申請）に行った所、本庁舎へ行くように指示された。（官庁の組織に興味があったので出向いた）本庁舎へ行った所、書類記載確認な	防犯灯新設申請については、本庁舎の道路河川課で行っている。庁舎が 2 つに分かれており、お手数をおかけしお詫びする。委員のご指摘は、多くの市民からご意見としていただい

		どで数分で終わった。(昨年の 8 月の暑い時に苦労した経験がある。) FAX とか電話で用件が済むのであれば、その位のサービスをしてもいいのではと思います。(たらい回し)	ており、改善できるものについては対応していきたい。
P105	広報紙	「広報」のパンフレット類や冊子などは、多治見市のHPで見られるコトを知らせて、また、実物が欲しい人には、市役所で貰えるように将来的に推進してはどうか？現在は町内会の広報係から班長を経由して各世帯に届いている。最近では区から脱退する町内会が多くあると聞いている。脱退した町内世帯の広報紙など配布方法は、如何に？町内会の仕事も減るコトや市としても諸経費削減にもなると考えます。	市は、区・町内会に市政協力業務委託しており、広報紙の配布をお願いしている。自治組織に加入されない世帯も増加しており、市役所ロビーや地区事務所などの公共施設以外に、市内のコンビニエンスストア、金融機関や医療機関などに対して広報紙の設置をお願いしており、設置店舗で広報紙を自由に持ち帰ることができる。また、町内会未加入の町内世帯やマンション等の集合住宅については、広報配布の要望があり、広報世話係のように取りまとめをしていただける方を通して配布をお願いしている。 広報紙は市政情報を伝える有力な媒体であり、町内会を通じて確実に世帯に届く仕組みは維持していきたい。増加している未加入世帯に対してどのように対応していくかは今後の課題である。